カエ～ブ

1
2019 JANUARY
Vol.264

ひがしかぐら

http://www.ja-higashikagura.com

P2～5　新年のご挨拶
P6　役員道内研修、青申視察研修、西神楽年金友の会秋季旅行
P7　女性部活動報告、家の光図書
P8　JAグループ通信
P9～11　平成30年試験紹介、アルーダ
P12　新生活応援キャンペーン
P13　JAグループ通信
P14～15　JA共済よりお知らせ
P16　救援金のお礼、農業者年金、国営
P17　営農計画書、市場日程　他

平成31年年頭挨拶

東神楽農業協同組合
代表理事組合長　井澤春雄

組合員の皆様、あけましておめでとうございます。

平成最後となる31年の新春を皆様御揃いでお迎えの事と心よりお喜び申し上げます

昨年は、比較的に災害の少ないと言われていた北海道に台風や地震の被害が発生し、大変な1年でした、また天候にも恵まれず6月や8月の作物の大切な時期に、低温や長雨に見舞われほとんどの作物が影響を受ける結果となりしました。

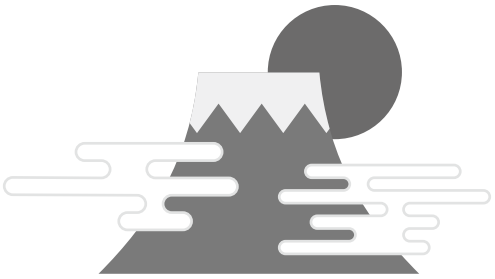
米をはじめとして、多くの品目が平年作を下回る作柄となり組合員の収入は大きく減少することとなりました。

農業情勢を見てみますと、固際貿易交渉による条約の発効により農産物の輸入増加に対して注視していかなければなりませんし、農協法の改正などにより農協を取り巻く情勢は非常に厳しいものとなっております、公認会計士による監査に伴う監査費用の増加、農協事業の員外利用の規制、正組合員と准組合員の比率の規制、また独占禁止法の厳格な運用による共同活動の大幅な制限など、これまで普通に行われていた農協の事業が大きく制約されようとしております。

農業人口の減少は急速に進んでおり、その対策は待ったなしであります。水田の大区画化や機械の大型化、また先端技術の導入による省力化など課題は数多くあり、その一つ一つを組合員の皆様と一緒に解決していかなければならないと考えております。

5月には新しい年号となります、このことを節目として組合員の皆さんと力を合わせて新しい時代を築いていきたいと思っております。

本年が組合員の皆様にとって実りある素晴らしい年になりますようお祈りし年頭のご挨拶といたします。



謹賀新年

代表理事組合長	井澤　春雄
代表理事専務	岸本　文孝
理事・総務業務委員長	三谷　信幸
理事・総務業務副委員長	河野　和浩
理事	前田　哲也
理事	秋山　善徳
理事	白川　茂美
理事	波能　隆
理事	前田　靖雄
理事	蔵田　勝次
参事兼務理事	高橋　和久
信用担当理事	金田　光功
代表監事	佐野　英克
監事	吉原　義順
常勤監事	稲場　善治

他職員一同

平成31年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
会長　飛田稔章

組合員並びにＪＡ役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、７月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに９月６日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やＪＡグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、ＪＡグループ北海道を挙げて、１日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと、米は、作況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度とも概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところです。

国際貿易交渉については、９月27日、日米両国が「日米物品貿易協定」（ＴＡＧ）の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、ＴＡＧ交渉において、米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めてまいります。

さて、昨年11月には、第29回ＪＡ北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆さんのご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この３年間の実践期間のうちに、２０１９年５月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、２０２１年３月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、ＪＡグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、「『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』」の実現に向けて、ＪＡグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は己亥（つちのとい）です。

亥には、「無病息災」や「安定した状態で始動を待つ準備期間」の意味があるとのことであります。

今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦労が報われる実り多い豊穣の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

平成31年の年頭にあたり

上川農業改良普及センター
所長　福谷洋一

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。日頃、農業改良普及事業の推進に当たりまして、農業者・関係機関の皆様からご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の作柄を振り返りますと、積雪期間はやや長めで、秋まき小麦への影響が心配されました。春先の作業は、平年より早く、水稲のは種・移植作業や施設野菜の定植は平年並の進捗でした。

5月の気温は高めに推移したものの、6月の気温は平年を下回り、水稲や施設野菜では活着後の生育停滞や作業時期による生育差の発生が見られました。6月下旬～7月前半と8月中旬～下旬では、日照時間が平年を大きく下回り、中盤の生育量確保や登熟の進みを足踏みさせる結果となりました。

また、災害の多い年でもあり、7月2日からの大雨では、河川の氾濫や広範囲な作物の冠水が発生、その後も、7月前半の断続的な大雨、8月以降も台風の接近による風雨と続き、9月6日には、最大震度を記録する北海道胆振東部地震の発生とそれによるブラックアウトという大規模停電にも遭遇しました。

水稲は、春先からの天候不良の影響が大きく、管内作況指数は90の不良となり、多くの作物でも減収となってしまいました。

このような年においては、農業者の皆様が培ってきた高度な管理技術と、農業者とJAが築き上げてきた「組織力」やお互いの「信頼」による取り組みが重要となります。

JA東神楽地域の農業は、水稲と野菜類による複合経営が主体となっています。今後とも、地域の持つ力を大いに発揮して、北海道農業を代表する産地として発展されますことを御祈念申し上げます。

普及センターにおきましても、今後とも変革する農業情勢を的確に捉まえて、農業者の皆様及び関係機関の方々と一体となり職員一同尽力してまいります。

結びとなりますが、本年も皆様にとってよりよい年となりますように、心より御祈念申し上げまして新年の挨拶といたします。

謹賀新年

所長	福谷洋一
次長	久保勝照
本所 地域第四係長	平山敦樹
本所 主査（畑作）	藤原啓介
本所 専門主任	黒川太郎
本所 調査員	高木葉二
大雪支所 支所長	川口招宏
大雪支所 地域第二係長	辻英敏
大雪支所 専門主任	吉田順子
大雪支所 専門普及指導員	工藤淑郎
大雪支所 普及職員	藤本周

新年を迎えて

ＪＡ東神楽青年部
部長　吉田昌史

新年あけましておめでとうございます。

平成31年の年頭に当たり、謹んでご挨拶申し上げます。

組合員の皆様には日頃より青年部活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り心より厚く御礼申しげます。

昨年は6月に低温、7月に大雨、そして9月1日には北海道胆振東部地震があり、自然災害に悩まされました。野菜の価格は高めに推移していたものの、作物は全般的に不作となり、農家にとって大変苦しい年になりました。今年度の青年部活動を振り返りますと、3名の部員が加わり、部員数は48名となりました。活動としましてはＪＡ職員との交流会、道内視察研修、花まつりでの焼き鳥販売、農産物の朝市を行いました。昨年度も朝市での販売に向け、青年部でスイートコーンの栽培を行いました。しかし、天候に恵まれず、収量は昨年度に比べ大きく減ってしまいました。それでも無事花まつりでの販売には間に合いまして、お客様には大好評頂き完売となりました。また、今年度は青年部のスイートコーン畑で保育園児との収穫体験も行いました。参加した園児には大変喜んでいただき、収穫したスイートコーンを美味しそうに食べていました。次年度も継続していきたいと考えております。農業情勢には、ＴＰＰ、ＥＰＡ、ＴＡＧで先行き不透明であり、国内では収入保険制度も本年より開始されます。また、ＩＴＧの活用で農業環境は日々進歩しています。青年部としても、新しい知識や技術をどんどん取り入れ、農業を通して地域を盛り上げる活動に尽力していきたいと思います。

最後に、本年が豊穣の年となるとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

謹賀新年

部長	吉田昌史
副部長	高橋聖司
副部長	白川悟
理事	佐野克臣
理事	中司敦大
理事	佐藤卓
理事	金田俊一
監事	中川勝敬
監事	吉原康弘
監事	中村祐太

新年を迎えて

東神楽女性部本部
部長　大塚勝子

あけましておめでとうございます。

部員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお喜び申し上げます。平成最後の昨年は、長雨、干ばつの天候不順・台風上陸・北海道胆振東部地震・ブラックアウトと幾つもの初めての体験に、数年ぶりの不作の秋と不本意な一年だったと思います。特に厚真の被災した田は心痛むものが有りました。改めて、自然の中で生かされた職だと知らされ、これからも変わるであろう天候対策や、ＴＰＰ11をはじめとする国際貿易協定の行方など、しっかり学習しなければと感じています。

女性部は、新しい体制のなか1年目を終えようとしています。当初44名でスタートした部員も59名と活動に賛同して参加者が増えているのはとても嬉しい事です。新しい試みとして商工会女性部とのコラボ事業を行いました。町内で活動している女性部どうし、理解を深め接点を多く持てたら楽しみも増えると感じました。まだまだ手探りで進んでいる所です。問題があればその都度話し合い、知恵を出し合い、皆さんが楽しく参加できる会にしたいと思います。今年こそは豊作の秋に期待し、良い年になる事を願い年頭のあいさつと致します。

謹賀新年

部長	大塚　勝子
副部長	西　　律子
理事	後藤　良枝
理事	西山　澄子
会計	中村美企子
監事	小足　隆子
監事	久保砂多美

新年を迎えて

東神楽女性部西神楽支部
支部長　香川君子

新年明けましておめでとうございます。

ご家族と共に輝かしい新年を迎えますことに心よりお喜び申し上げます。

日頃より、女性部活動にご理解とご協力賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、1月から3月の大雪、7月の豪雨と災害の一年になり、農畑作物全体が復活する天候に恵まれず、残念な出来秋を迎えました。近年は予想のつかない異常気象が続いており、各地での被害を目の当たりにして、改めて心よりお見舞い申し上げます。

女性部活動は、夏期研修の札幌方面に始まり、部員研修では旭農生が講師となりプリザーブドフラワー作り、フロアーカーリング、農産物を使った調理加工実習、二年に一回の道外研修旅行など多くの部員の参加を頂きました。

役員一同では8月のＪＡの収穫祭や11月3日の地元文化祭での野菜即売会は根強い人気がある事も役員一同改めて実感する事が出来ました。

農業を取り巻く環境は決して明るい事ばかりではありませんが、皆様にとって今年も良い年でありますことをご祈願申し上げ新年の挨拶と致します。

謹賀新年

支部長	香川　君子
副支部長	中川　友子
会計	高山　美江
理事	松本　美香
監事	中川　郁代
監事	中島　育子

平成30年度　役員道外研修

平成30年12月5日～7日までの期間、役員14名、職員2名、合計16名で道外研修を行いました。

初日に株式会社ミツハシを訪問させていただきました。神奈川県幸浦にある精米工場を視察し「安全・安心体制への確立」に向けた取組について説明頂きました。ＡＩＢフードセーフティープログラム(米国製パン研究所が定める適正製造規範)を採用し日々、食品の安全を追及しています。当ＪＡも新規精米工場の稼働前に学ぶ事が多く、「シンプル・イズ・ベスト」の言葉通り「簡単であること」が人的ミスや機器トラブルの抑制効果があると教えていただきました。

２日目は株式会社サカタのタネを訪問、千葉県君津にある研究農場圃場にて開発中の新品種を含め説明頂きました。種苗法が撤廃されましたが、採種事業については確立したノウハウがなければ管理運営が困難であり、今後も産地生産者を連携しながら事業運営を進めていきます。

同日、株式会社サニーフーズを訪問、千葉県船橋工場にて大麦若葉加工製品製造工程を視察致しました。同社は永谷園のグループ企業でグループ独自の品質保証システム「ＮＡＦＳＡＳ（ナフサス）」の考え方を共有し安全・安全の確保に努めています。今後も進捗目覚ましい健康食品への思いを説明頂きました。

最終日は、東京都大手町にある全国農業協同組合中央会にて農地関連制度、外国人材、ＨＡＣＣＰ制度化、国際貿易交渉、国家予算、税制、作目等別対策、それぞれの情勢と今後の取組について説明頂きました。また本部ビルで農業・農村ギャラリーを常設し都会の真ん中でも食や農を感じられるスペースとして毎月様々なイベント・講座を開催、全国各地の美味しい食材を使った弁当や商品を毎日販売しています。

今回の研修によりＪＡ事業の運営体制をより強固にし、未来に向けた方針を考える機会となりました。より多くの考えをうまく取り入れＪＡ東神楽の運営を進めて参ります。

東神楽農業青色申告会　視察研修

東神楽農業青色申告会では、毎年開催している視察研修を11月12日～11月13日の日程で17名の会員の皆様にご参加いただきオホーツク方面へ行って参りました。初日は北見市常呂町にある「レストハウスところ」で昼食を食べ、その後常呂漁協直売所で買い物をしました。宿泊場所は「北天の丘　鶴雅」に宿泊し宴会も大いに盛り上がり会員それぞれ懇親を深めました。

２日目は網走の「オホーツク流氷館」を見学し、北見市内で昼食をとり帰路につきました。

会員同士親睦を深めることができ、楽しい旅となりました。ご参加いただきました会員の皆さまありがとうございました。

西神楽年金友の会　秋季旅行

西神楽年金友の会では、今年最後となる行事を23名の会員の皆様にご参加頂き11月26日から3泊4日の日程で層雲峡ホテル大雪にて秋季旅行（湯治）を実施致しました。

出発当日は11月後半となっているのに道路には雪もなく快適に層雲峡へと向かいましたが、到着する頃にはうっすら雪景色となり北海道の寒さを実感させられました。そんな寒さだからこそ、温かい温泉で身も心も温まり皆さんの日々の疲れを癒した事だと思います。

初日の夜は岸本専務を招いて宴会を開催しビンゴ大会やカラオケで楽しみ、宿泊中は恒例となったカーリンコンを男女混合戦で行い和気あいあいの中白熱した戦いを繰り広げました。別の日には初となる輪投げ大会をお部屋対抗戦にて開催し、６本の棒に一人5回輪を投げ点数を競うゲームで、最初はコツを掴むまでなかなか難しく皆さん苦戦していましたが何度か輪をなげているうちに投げた輪が全部入る方が何名か現れ、それを見ていた方達が拍手喝采で祝福し大いに盛上りました。

３日目の夜も宴会を開催し宿泊券をかけたホテル主催のジャンケン大会が行われ更に楽しく盛会となり最終日の夜を過ごしました。

今年も残りわずかとなり、日を追うごとに忙しくなる時期となりましたが、その中で短い日程ですが楽しみながらゆっくり過ごせた時間となったのではないかと思います。

ご参加頂きました皆様ありがとうございました。

JA東神楽女性部本部 第3回ソーセージ作り講習会

JA東神楽女性部では例年この時期に講習会を開催しておりますが、今回は大塚部長の「同じ町内の女性部と一緒に何か出来ないか?」との発案により、東神楽町商工会女性部にお声をかけ、東神楽町商工会女性部5名、JA東神楽女性部17名参加のもと11月19日、農畜産物処理加工施設にて、JA東神楽女性部第3回ソーセージ講習会を開催致しました。

ソーセージを詰める作業は、ハンドルをゆっくり回し肉を押し出す係と、羊腸をのばしながら肉を詰める係の2人で呼吸を合わせて行います。見ていると簡単そうですが、実際にやってみると意外と難しく、みなさん苦労しておりましたが、初めての方も次第に慣れてきてみなさん和気あいあいと会話を楽しみながら作業をしておりました。できあがった製品も満足のいく美味しいもので、盛況のうちに作業を終えることができ、「これからも合同で行なう講習会を続けていきたいですね。」と、商工会女性部の西山部長も述べられて、とても良い交流会となりました。

女性部西神楽支部 管外研修旅行

12月2日（日）から3泊4日で部員11名のご参加を頂き、四国地方と瀬戸内海を見ながら広島県へと行って来ました。

初日は香川県にある、国の特別名勝に指定されている文化財庭園の中で最大の広さを持つ栗林公園を散策し、琴参閣に泊まり温泉で疲れを癒しました。

2日目は、高知県柚子で有名な馬路村へ。山奥にある村がJAと一丸となって柚子で村を盛り上げた話はとても為になりました。また柚子の加工商品が沢山あり皆さんお土産に買っていました。3日目愛媛県南四国ファームでみかん狩りを体験して来ました。案内人のおじさんの話しを聞きながら甘くて美味しいみかんを食べて、帰りは直売所でみかんや柿を皆で買って、道後温泉を散策し温泉を楽しみました。最終日は今治市タオル美術館を見学し、しまなみ街道を通り広島空港より旭川空港に帰ってきました。バス移動の多い研修でしたが、ガイドさんのお話が素晴らしく沢山色々な事を学び、皆で食べて飲んで大笑いして楽しい思い出に残る管外研修となりました。

今月の配本図書

JA東神楽農業文庫

図書に関するお問い合わせは農業振興課 TEL83-2243

つまみでおかず

居酒屋気分で酒の肴

瀬尾幸子　著

自宅で居酒屋気分が味わえる、お酒が主役のおつまみ本。ベストセラー『おつまみ横丁』の著者による待望の新作レシピ。火を使わずにすぐできるものからボリューム満点のおかずにもなるおつまみまで、120品掲載。

あまくないから おいしいお菓子

ギリギリの甘さで仕上げる新しいおいしさ。

坂田阿希子　著

「お菓子は甘いもの」という常識を覆す、新感覚のお菓子レシピ。ギリギリの甘さで仕上げることで、素材の香りやコクが際立つ。甘いものが好きな人もそうでない人も、一度食べたらクセになる、大人のスイーツ。

相続で絶対モメない 遺産分割のコツ

言葉・空気・場の読みまちがいが命取り！

佐山和弘　著

相続が〝争続〟になるのは、人間関係のこじれが原因であることがほとんど。「遺産分割協議のモメない進め方のルール」を、1,000件を越える相談案件に立ち会ってきたプロが具体例を交えて詳しく解説する。

平成 30 年度試験紹介

●子実とうもろこし

【目的】

小麦等の連作障害解消のため近年注目されている飼料用作物「子実とうもろこし」。水田活用交付金に加え、子実の販売収入が期待でき、投下労働時間が少なく、既存の機械設備が活用できることから、輪作体系への導入を検討するため、実証圃の試験結果について紹介します。

試験概要		
	H29	H 30
品種	P 7631　82 日	P 8025　85 日
規模	70.3a	87.2a
施肥	堆肥　1.7 t /10a BBS380　100kg /10a	BBS380　100kg /10a
防除	ゲザプリムフロアブル アルファード乳剤	ゲザプリムフロアブル
播種日	5 月 4 日	5 月 11 日
収穫日	10 月 10 日	10 月 5 日
収量	製品換算　954kg /10a （調整水分 14.0%）	製品換算　776kg /10a （調整水分 14.0%）

収支試算						
	H29			H30		
収入	項目	10a 金額	備考	項目	10a 金額	備考
	粗収益	33,390	954kg× 35 円	粗収益	27,160	776kg× 35 円
	交付金	40,000	水田活用	交付金	40,000	水田活用
	収入計	73,390		収入計	67,160	
支出	種苗費	5,297	9,000 本 /10a	種苗費	5,796	9,000 本 /10a
	肥料費	13,428		肥料費	1,003	
	農薬費	2,032	除草剤	農薬費	489	除草剤
	生産資材費	3,240	フレコン	生産資材費	1,526	フレコン
	賃料費	32,585	収穫・乾燥調製	賃料費	30,996	収穫・乾燥調製
	諸負担金	5,200	土地改良区	諸負担金	5,200	土地改良区
	支出計	61,782		支出計	45,010	
	差引金額	11,608		差引金額	22,150	

【結果】

・試験での収量目標は（700kg /10a）でしたが今年度は低温長雨の影響により茎や俵が小さく昨年のような収量は得られませんでした。経済性を考慮すると実働は（1000kg /10a）が目標となる。
・収穫は汎用コンバインに収穫キットを装着すれば可能となりますが、乾燥が十分でないと刈取時に切断できない個体が中で詰まってしまい作業能率が下がる。
・連作障害回避や後作物の増収確保。さらに、省力性を生かした経営展開が目標となる。

※子実とうもろこしの試験は本年度で終了となります。

平成 30 年度試験紹介②

乾燥加工事業の可能性

●大麦若葉

【目的】

大麦若葉の栽培は「耕起・播種・栽培管理」までの作業を生産者にお願いし「収穫・加工」を JA が行う事によって、農作業の省力化、慢性的な労働力不足の解消を補いながら安定収入の確保していくことを目的とする。

【収支試算】

	項目	10a　金額	備考
収入	粗収入	¥5,160	172 ｋｇ× 30 円
	交付金	¥31,849	産地交付金
	収入合計	¥37,009	
支出	種苗費	¥3,750	15 ｋｇ× 250 円
	肥料費	¥2,452	
	農薬費	¥1,054	除草剤（土壌処理）
	支出額	¥7,256	
	差引金額	¥29,753	

【試験概要】

品種名	ニシノホシ	
規模	７０ａ	
播種日	４月 24 日	
基肥	硫安	20 ｋｇ /10a
追肥	ワイドユース	20 ｋｇ /10a
土壌処理	ゴーゴーサン乳剤	
	300 ～ 500 ｍＬ/ １０ａ	
収穫日	６月 13・14 日	
	※実質収穫作業１日	
	（収穫初日圃場がぬかった為収穫機の試運転のみで終了）	
収量	1212 ｋｇ（反収 173 ｋｇ）	

【結果】

■実証での平均収量 173 ｋｇは、目標収量 (1t) を大きく下回る結果となったが、別圃場（畑）での収量は悪天候で極端に悪かったものを除いて 600 ～ 700 ｋｇほど収穫できた。

■無農薬栽培による農薬ドリフトの懸念、健康食品への利用のためアレルギー物質への対応（そば、小麦、豆類後もしくは周辺での栽培禁止）など圃場を選んでしまう面もあるが、農作業の省力化に大きく期待ができる。

平成 30 年度試験紹介③

●加工用ほうれん草

【目的】

乾燥加工施設の導入により、大麦若葉以外の他作物（現状 40 種程度）の中からほうれん草の乾燥加工作業を行うにあたり、路地での栽培試験を目的とする。

	項目	10a 金額	備考
収入	粗収入	¥55	1.1 × 50 円
	収入合計	¥55	
支出	種苗費	¥3,388	
	肥料費	¥2,780	
	支出額	¥6,168	
	差引金額	¥-6,113	

【試験概要】

品種名	トラッド 7	
規模	70a	
播種日	8 月 13 日	
基肥	苦度タンカル	25kg /10a
	NS604	20kg /10a
収穫日	10 月 3 日	
収量	8 ｋｇ（全量）	

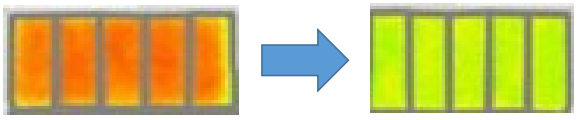
【結果】

■実証８ｋｇと目標反収（1 ｔ）を大きく下回る結果となってしまった要因として、播種後の大雨の影響で発芽不良や生育不良につながったと考えられる。また収穫時に機械での収穫可能な大きさ（２０～３０ｃｍ）まで成長しなかったためにロス生じた。

平成 30 年度試験紹介④

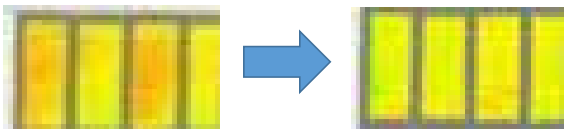
タンパク含有率マップ

ゆめぴりか　たんぱく8.2



2018.7.25　　2018.9.05

ななつぼし　たんぱく7.0



2018.7.25　　2018.9.05

タンパク含有率

高

低

出穂期にとる写真でタンパク値を予測することが可能であるとのことであったが、実際には品種間差・移植日などでかなり差があることがわかった。9月の収穫前のタンパク含有率マップを見たときに、緑色の低たんぱくとおもわれる箇所のタンパク値が高く出ていたことからタンパク値の判断に使うのは現段階では厳しい。次年度も引き続き開発元の国際航業（株）と打ち合わせを行い有効な使用方法を模索します。

ミニアルーダ掲示板

耳より情報　アルーダがあるじゃないか!!

《売りたい情報》　12月7日現在の情報です。(税別)

品　名	銘柄	型式	金　額	備考	品　名	銘柄	型式	金　額	備考
スノーモービル	ポラリス		250,000		代掻きロータリー	コバシ	PS2860	50,000	
コンバイン	ヰセキ	HFG447G-VRLW	2,300,000		ブロキャス	タカキタ	BC2010-H	20,000	
田植機	みのる	RXG-8	1,000,000		トンネルポール		3m*196本	18,000	
田植機	ヤンマー	VP6	100,000	360時間	小米取り機	マルマス	V-1	15,000	ｽﾀﾝﾄﾞ付き
代掻きロータリー	ニプロ		70,000		農業温度サーモ	アサヒ		5,000	

アルーダのホームページアドレスは　https://www.hokuren.or.jp/aruda/

《売りたい遊機農機具はありませんか?》　ご希望の方は窓口までご相談下さい。

◎お問い合わせは◎　ＪＡ東神楽整備センター　　☎83-3810・83-2159

ご注意

アルーダ会場にてご成約の際には
本人確認のため身分証明書のご提示 をいただきます。
当日は **運転免許証等（本人確認できるもの）** をお持ち願います。

上川管内農協限定
キャンペーン

平成31年3月
卒業の皆様へ

車を買うなら
農協がお得!!

新生活応援キャンペーン

選べる

平成31年1月1日(火)
～3月20日(水)ご契約分まで

うれしい

新車・中古車をご成約頂きますと もれなく素敵なプレゼントを 進呈します！

※下記5点の中から1点お選び頂けます。
※商品が変更になる場合がありますのでご了承ください。

A:ライオン トップ
スーパーナノックス
ギフトセット

B:バラエティ
調味料セット

C:ペスカロロ
ミニハス・フェイス
タオルセット

D:ツインバード
コードレスハンディクリーナー

E:ドリテック
さすだけ充電
ラジオライト

ご希望の車種をお探しいたします！お気軽にご相談ください！

対象車種:農協より購入する自動車全種(メーカー・新車・中古車問わず)
対 象 者 :平成31年3月卒業予定の学生の方(高校生・大学生・専門学生等)

主催:上川管内農協・㈱ホクレン油機サービス・ホクレン 旭川支所 ※申込お問い合わせは各JAまで

JAたいせつ ☎0166-57-6084	JAひがしかぐら ☎0166-83-2159	JA東旭川 ☎0166-36-1212	JA当麻 ☎0166-84-2600	JAぴっぷ町 ☎0166-85-3118
JA上川中央 本所☎01658-6-5314 上川支所☎01658-2-1338		JAひがしかわ ☎0166-82-2454	JAびえい ☎0166-92-2157	JA北ひびき ☎0165-22-2998
JA道北なよろ ☎01655-3-2168	JA北はるか ☎01656-2-1916	JAあさひかわ ☎0166-37-8860	JAふらの ☎0167-22-0078	㈱ホクレン油機サービス ☎0166-48-1100

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

11月13日、JAグループ北海道の役職員はじめ約2，400名が参加し、「第29回JA北海道大会」を開催しました。大会では、将来ビジョン『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』の実現を継承し、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を決議しました。協同の力と総合力を発揮し、一丸となって決議事項の実践を通じた自己改革に取り組みます。
決議事項の実践内容や農業・JA・協同組合の意義や価値の発信により、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指します。

JA北海道信連

9月に、札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさっぽろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。
JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになったみたい」とお札の束を広げる子も…。
未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思います。

ホクレン

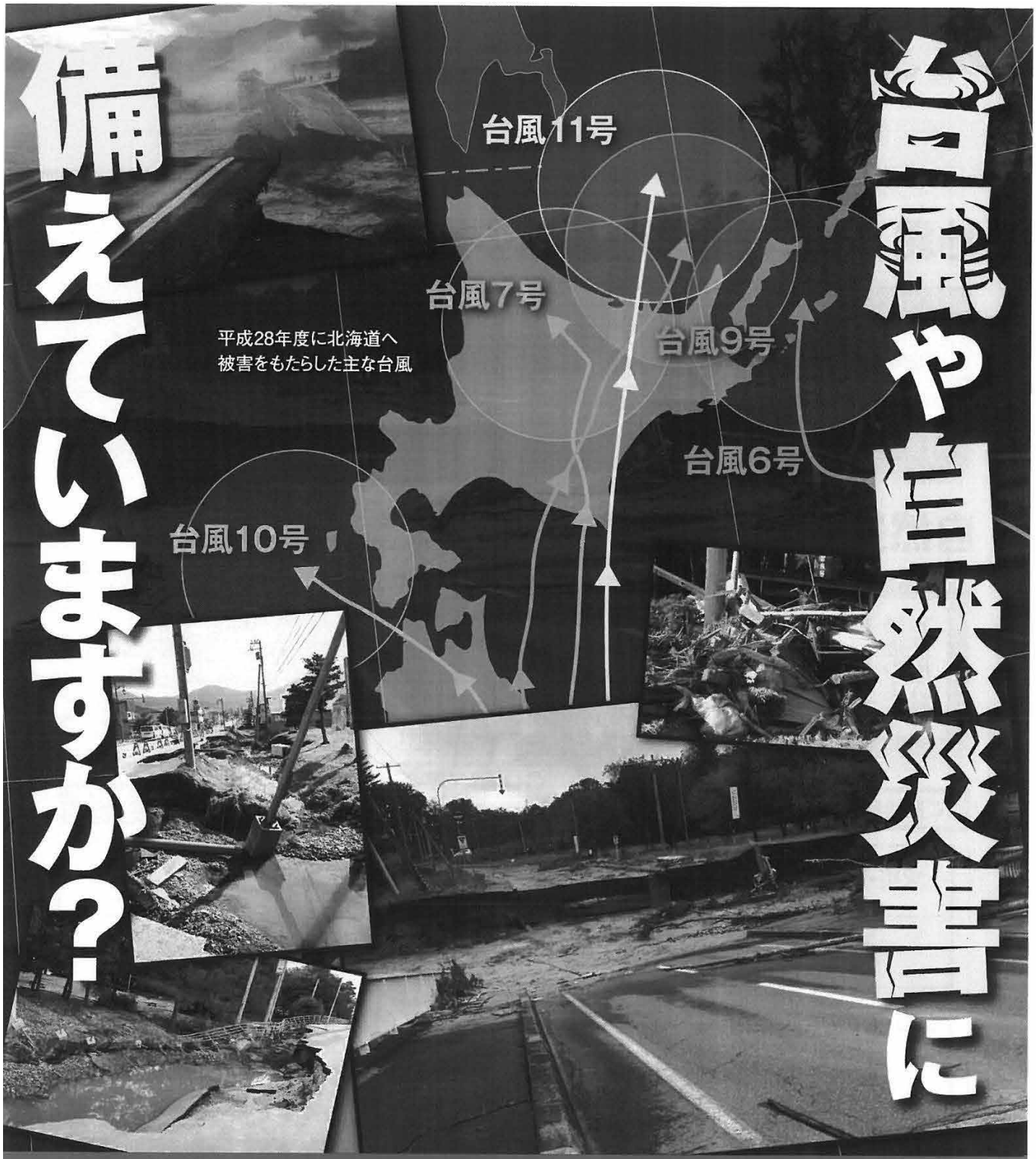
北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年はJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび！」とJA北海道農協青年部協議会の「農業クイズ」などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。

JA共済連北海道

10月27日（土）にANAクラウンプラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4，342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。
今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。
年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。
ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



台風や自然災害に
備えていますか？

建物更生共済
むてきプラス
JAの建物更生共済「むてきプラス」
火災・自然災害や地震からお守りします。

JA共済

JA共済

いえの保障 建物更生共済 むてきプラス

地震、火災、台風まで。家の安心を、これひとつで。

火災はもちろん、台風や地震などの自然災害もしっかり保障します!

満期のときには、満期共済金が受け取れます!

自然災害にも確かな保障

建物更生共済は、大規模自然災害においても確かな保障をお届けしています。

最近の主なお支払い例

平成27年 低気圧および台風23号	平成28年 台風7号	東日本大震災
1,866件／24億4,000万円	575件／7億6,000万円	683,665件／9,369億円
主な被災地区：後志、空知、帯広、釧路、中標津、北見	主な被災地区：函館、釧路、中標津、北見、苫小牧	

※JA共済連北海道調べ(平成29年12月末現在)

ご契約例 ○共済の対象:建物(協定共済価額1,500万円) ○共済期間…30年 ○臨時費用共済金の支払割合10% ○実損てん補特約付 ○火災共済金額…1,500万円 ○満期共済金額…50万円

火災・台風のとき	損害の額 ＋ 臨時費用共済金 ＋ 特別費用共済金 ＋ 残存物とりかたづけ費用共済金
地震のとき	750万円 × 損害割合 ※支払われる共済金は、損害の額の50%が限度です。
ケガ・死亡されたとき	傷害共済金
満期のとき	50万円 ＋ 割りもどし金

●共済期間は5年と10年が選べ、継続特約の付加により最長30年間の保障が可能です。
●割りもどし金は、ご契約後7年目から5年ごとおよび満期時に受け取れますが、その都度変動し、経済情勢などによっては0となる場合もあります。
※各種共済金のお支払いについては所定の条件があります。

このご契約例の共済掛金 住宅物件・口座振替扱い 単位:円(平成30年4月1日現在)

木造・防火造	年払い	月払い
当初10年間	75,819	6,601
[参考] 1回継続後	69,467	6,044
[参考] 2回継続後	68,223	5,936
耐火造B・C	年払い	月払い
当初10年間	48,185	4,187
[参考] 1回継続後	43,416	3,782
[参考] 2回継続後	42,194	3,676
耐火造A	年払い	月払い
当初10年間	41,709	3,633
[参考] 1回継続後	37,307	3,244
[参考] 2回継続後	36,093	3,138

継続特約を付加し、保障期間が20年、30年となる場合、継続後の共済掛金は継続時の共済掛金率で計算いたしますので、継続の時に共済掛金が変更となる可能性があります。

物件の種類によって、共済掛金が異なります。

建物更生共済むてきプラスには、家財を保障の対象とするプラン「My家財プラス」もあります。

●この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。 ■JA共済ホームページアドレス http://www.ja-kyosai.or.jp

平成 30 年北海道胆振東部地震・台風 21 号による被災組合員に対する救援募金のお礼

この度は、救援募金にご協力いただきまして、ありがとうございました。皆様の温かいご厚意により、大変多くの救援金を集めることができました。

救援金合計 464,707 円

新農業者年金にご加入の皆様へ

冬期間就労（除雪や出稼ぎ等）で厚生年金に加入したときは、農業者年金の資格喪失の届出が必要（厚生年金と農業者年金は同時に加入できないため）となります。12 月 1 日から厚生年金加入の方の場合 12 月に入ってからの手続きで大丈夫です。

以下に該当する場合　ＪＡ金融窓口でお手続きが必要です。（ご来店の際はご印鑑をご持参下さい）。

・国民年金の第２号被保険者となった場合（厚生年金に加入した等）。
・国民年金の第３号被保険者となった場合（厚生年金に加入した人の被扶養者となった場合）。
・国民年金の保険料の全額又は一部の額の納付が免除されたとき。

また冬期間就労後、再度農業者年金にご加入の方はＪＡ金融窓口で再度、加入のお手続きをお願い致します。尚、ご来店の際は、年金保険料**引落口座のご印鑑**と（就労していた会社から発行）された**加入期間等証明書**をご持参下さい。（こちらも事後報告ですので、証明書を頂いてからご来店いただけますと助かります。）

国営緊急農地再編整備事業の実施状況

【旭東東神楽地区】

旭東東神楽地区では平成 30 年度より工事が始まり 7.8ha の圃場で実施されました。平成 31 年度の事業については約 72ha（高規格道路予定地）の工事と、約 130ha の設計業務を予定しております。

事業も本格化となり工事予定地区の皆様には地区説明会や現場立会など、ご多忙のところお手数をお掛けしますがご理解とご協力をお願い致します。

【旭東地区】

平成 25 年度に国営緊急農地再編整備事業調査地区の決定を受けて、推進協議会・推進期成会とともに努力して参りました。今年 8 月末には 2 億円の概算要求が決定し、年末に向けて審査が行われております。

今後は施行申請の各種手続きを進めていき、平成 31 年事業着手（32 年工事着工）に向けて、耕作者・所有者の皆様に各種書類の提出をお願いして参ります。

事業受益者全員の参加が必要となりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

堅実な経営は営農計画書から

営農計画書提出期限 **1月31日まで**

本年も右記日程の通り、各地区ごとに営農計画書の受付を致しますのでご多忙とは存じますが期日までにご提出頂きますようお願い致します。

尚、計画書の作成にあたっては、過去の実績を分析し別紙参考資料を活用して、綿密な営農計画を立てましょう。

日　　程	東神楽地区	西神楽地区
1月29日(火)	東聖・八千代・志比内	西神楽・新開・その他地区
1月30日(水)	中央全区・市街地	中央・千代ヶ岡地区
1月31日(木)	忠栄・稲荷	聖和・就実地区
場　　所	JA東神楽本店2階C会議室	西神楽営農センター2階大会議室
時　　間	午前9:00～午後5:00	
担 当 課	農業振興課 83-2243	西神楽営農センター 75-4215

※地区で振り分けをしていますが、ご都合があわなければ上記いずれかの日時にて受付をお願い致します。

正組合員に加入しましょう。

農業後継者、農業女性の皆様

拝啓　日頃より、当組合にご協力を賜り、誠に有り難うございます。

近年、高齢化及び後継者不足により、正組合員数の減少が進んでおり、今後も減少が予想されます。

昭和 23 年に東神楽農業協同組合が設立、平成 16 年にＪＡ西神楽と合併し、協同の理念のもと、農家経済の安定と地域社会の繁栄のために組合員・地域住民・農協役職員が力を合わせて参りました。

農業情勢がますます厳しくなる中、農業後継者及び農業女性の共同活動への参加が、今後の協同組合の運営に反映することで、農業所得を向上し、安心して生きがいを持って暮らせる地域づくりができると思っております。

今後も地域農業の発展のために、正組合員となって農協運営に参画くださいますようお願い申し上げます。　　敬具

代表理事組合長　井澤　春雄

◎　正組合員資格

1）１ｈａ以上の農地を耕作する農民で、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にある者

2）年のうち、１５０日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にある者

◎　出資金基準

正組合員の家族（後継者、奥様）は、１名当たり５０，０００円以上の出資をお願いしております。

ご相談・申込み・お問い合わせ先　・本店総務部管理課（８３－２３２１）
・西神楽支店（７５－４２１１）

平成31年 道内市場休開市日程表

■印の日は休市です　◯印の日は臨時開市です

1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

5日　初市
14日　成人の日
9、23、30日　臨時休市

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

11日　建国記念日
6、20、27日　臨時休市

詳しくは東神楽地区 営農販売課 ☎83−2241・西神楽地区 営農センター ☎75−4215 までお問い合わせ下さい。

今月のスナップ

マックスバリュ 販促

女性部　ソーセージ作り講習会

職員の永年勤続表彰

役員視察研修

組合員の動き（平成30年11月末現在）

正組合員戸数	正組合員数	准組合員数
599戸	731名	4,146名

編集後記

本年も宜しくお願い申し上げます。

先日出張に行った際、以前研修で一緒になった青年部事務局達と再会しました。普段は地域が違う人ばかりなので会うことはほぼないのですが、今度は仕事ではなくプライベートで集まろうとなり非常に楽しみです!

これからもこの繋がりを大切にしていこうと思います（さ）

行事予定表

12月31日（月）	大晦日
1月 1日（火）	元旦
1月 4日（金）	金融・共済業務仕事始め
1月 13日（日）	東神楽町成人式
1月 14日（月）	成人の日
1月 7日（月）	一般業務仕事始め

東神楽農業協同組合 ☎TEL 0166-83-2321
〒071-1512 北海道上川郡東神楽町北1条東1丁目2番1号